



Hi-End Mastering-grade AD/DA Converter

AMARI

目次

1. 初めに
2. 製品を安全にご利用頂くために
3. クイックスタートガイド
4. フロントパネルとリアパネル
 - 4.1. フロントパネル
 - 4.2 リアパネル
5. AMÁRI ソフトウェアコントロール
 - 5.1 モニタービュー
 - 5.2 ヘッドフォンビュー
 - 5.3 デジタルビュー
6. 用語集

1. 初めに

AMÁRI はハイエンド 384kHz PCM / DSD256 AD/DA コンバーターです。その雄大なサウンドは、ミキシングエンジニア、マスタリングエンジニア、そして熱心なオーディオファンに最適です。美しくデザインされたデスクトップユニットは鮮やかなタッチスクリーンディスプレイを備えています。1ペアのアナログ出力 (XLR または TRS コネクタ)、1ペアのアナログ入力 (Combo XLR または RCA)、および2つの高出力ヘッドフォン (HP) 出力 (専用のボリュームコントロールおよび調整可能な出力インピーダンス) を備えています。

主な機能:

- -ハイエンドの 24-bit 384kHz AD (2つの AK5578) および DA (8つの CS43198) コンバータにより、A/D のダイナミックレンジは 128dB、D/A のダイナミックレンジは驚異の 138dB
- DSD64、DSD128、および DSD256 フォーマットのサポート (DSD over PCM)
- バランスモードに切り替えることができるユーザーが選択可能な出力抵抗 (別名ヘッドフォンメンブレンウェイト補正) を備えた各出力のための専用の音量コントロールを備えた2つのヘッドフォン出力。
- 1ペアのアナログ出力 (XLR または TRS)
- 1ペアのアナログ入力 (コンボ XLR または RCA)
- 高度な機能制御と視覚化を容易にする大型タッチスクリーンディスプレイ
- 最も頻繁に使用するコントロールに素早くアクセスするための専用のノブとボタン
- デザイン性
- よりよいシステム統合や音声のオーディオクリアリティのための 10M および WC 入力
- PC / MAC の便利で使いやすいコントロールパネル

2. 製品を安全にご利用頂くために

感電・災害などのリスクを減らすために必ず事前にお読みください。

1. ねじを外したり、カバーを開けないでください。ユーザー様で自身で修理できるパーツはございません。修理や調整が必要な場合はテクニカルサポートまでご連絡ください。
2. 雨、湿気、液体のこぼれた場所に装置を放置しないでください。液や異物が入った場合は使用しないでください。デバイスの電源を切って電源から抜いてください。
3. 万が一、異物や液体が製品に混入した場合は直ちに電源を落とし、コンセントを抜いてください。異物や液体が完全に取り除かれるまでは使用を控え、メーカーまでご連絡

ください。火災や致命的な故障の原因となります。

4. 濡れた手で電源ケーブルを取り扱わないでください。電源プラグをコンセントから抜くときは、デバイスの電源が切れていることを確認してください。

5. 上に物を置かないでください。換気の悪い狭い場所で使用しないでください。操作や他に配置されたものの操作に影響を与える可能性があります。何か問題が発生した場合は、まず装置の電源を切り、電源コードを抜いてください。

6. 何か問題がある場合は、まず装置の電源を切り、次に電源をコンセントから抜いてください。自分で装置を修理しないでください。サービス担当者または販売店にご相談ください。

7. ラジエーター、ストーブ、または熱を発生するその他の機器（アンプを含む）などの熱源の近くに装置を設置しないでください。

8. 強力な化学薬品を使用してユニットを清掃しないでください。電子機器専用のクリーナーで清掃してください。ユニットの電源を入れる前に、すべてのデバイスを接続してください。

9. 電源ケーブルは人が踏んでしまうような場所や、他の物が上に乗ることのないように設置、接続するようにしてください。また、ケーブル自体を結んで配線しないで下さい。

10. 装置に電源を入れる前に、使用するすべての装置と接続してください。

11. 本製品の電源を完全に落とす場合は、本体の電源を落としてからコンセントを外し、本体から電源ケーブルを抜いてください。

12. ヘッドホンやモニターを使用して音を聞く際、過度な音圧レベルで長時間の視聴は控えて下さい。聴覚に申告な問題が発生する場合があります。

13. 本製品は次の温度環境で動作するように設計されています。0 ~ 50°C、32 ~ 122°F

3. クイックスタートガイド

1. 電源を接続して、USB 3.0 ケーブルで AMÁRI をWindows または Mac コンピュータと接続します。そして 装置の電源を入れます。そのあとコンピュータを起動してください。

2. www.antelopeaudio.com/login/ にアクセスしてログインするか、アカウントを作成します。

3. Antelope Launcher、Windows ASIO ドライバ、または MAC の統合ドライバを Antelope Audio カスタマサポートページよりダウンロードしてください。

4. ダウンロードしたファイルを展開して画面上の指示に従ってソフトウェアをインストールします。

5. アンテロープランチャーを開くと、初回の AMÁRI ファームウェアとコントロールパネの更新があります。これにより最新の利用可能なバージョンに更新します。

6. Antelope Launcher から AMÁRI Control Panel のアイコンをクリックしてコントロールパネルを起動します。

7. Antelope Audio Registration Wizard が起動し、Activation が始まります。画面上の指示に従ってください。

ご不明な点がある場合は、アンテロップオーディオカスタマーサポートにお問い合わせください。

4. フロントパネルとリアパネル

4.1 フロントパネルの説明



1. Left Balanced Headphone Output
2. Right Balanced Headphone Output
3. Headphone Output 1 Volume Control
4. Headphone Output 2 Volume Control
5. Touchscreen
6. Oven Clock Indicator
7. Atomic Clock Indicator
8. Word Clock Indicator
9. Master Volume Knob

このボタンを押し込むと音量やミュート、トリム等のコントロール設定が表示されます。

10. Mono Button
11. Mute Button
12. Dim Button

4.2 リアパネルの説明

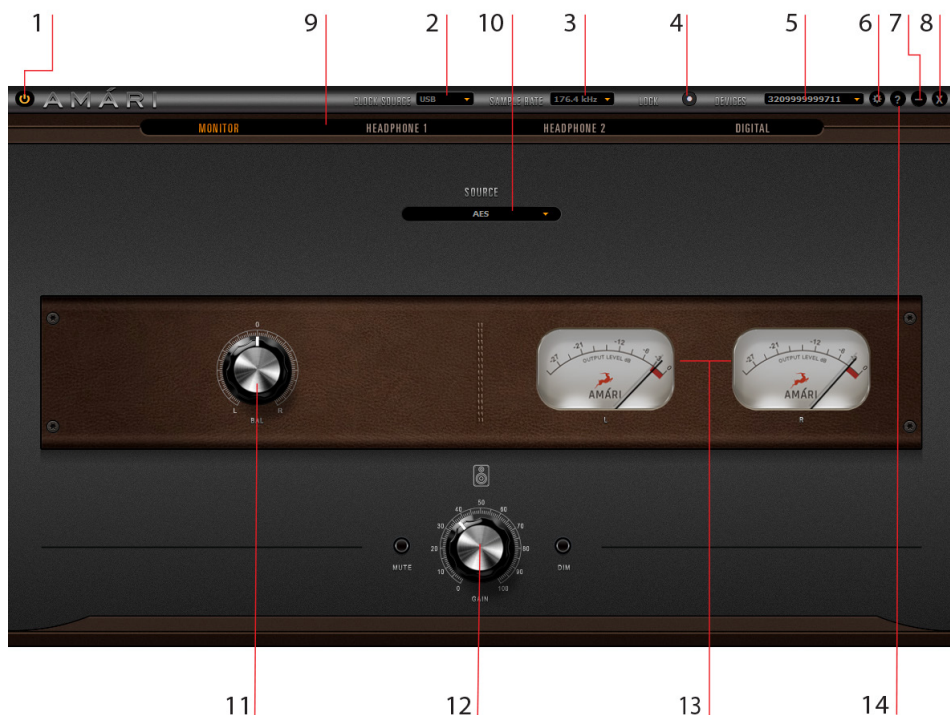


1. 10M Atomic Clock Input
2. Word Clock Input
3. Kensington Lock
4. AES Input
5. S/PDIF Input & Output
6. Analog Left & Right Inputs (RCA Connectors)
7. TOSLINK Input & Output
8. Analog Left & Right Inputs (Combo Connectors)
9. AES Output
10. USB 3.1 Gen1 Type B Connector
11. Analog Left & Right Outputs
12. Analog Left & Right Outputs (TRS Connectors)
13. Power Supply Connector

5. AMÁRI ソフトウェアコントロール

直感的で使いやすくデザインされた AMÁRI ソフトウェアコントロールパネルは、ユニットのタッチスクリーン機能の大部分を反映しており、信号ルーティングを柔軟に制御することもできます。

5.1 モニタービュー



画面左右上部には以下のメニューがあります。画面をタッチして操作してください。

1. Power On/Off Button

製品の電源の ON/OFF 切り替えができます。確認画面が出て、Press を押すと電源を OFF にできます。再度電源を入れたい場合は、画面をタッチすると、電源マークが現れるので、それをタッチしてください。完全に電源を切りたい場合はコンセントから電源を抜いてください。

2. Clock Source

クロックソースを選択できます。

す。
Oven (Thermal-controlled oscillator) AMÁRI 自信のクロックで動作します。
Word Clock (Word Clock input) WC に入力しているクロック信号で動作しま

AES (AES Input) AES 経由のクロック信号で動作します。

S/PDIF (S/PDIF Inputs) S/PDIF 経由のクロック信号で動作します。

TOSLINK (TOSLINK Inputs) TOSLINK 経由のクロック信号で動作します。

USB (Computer Audio) USB を参照して動作周波数を固定します。(USB はクロック信号を扱いません)

3 Sample Rate

サンプルレートを指定できます。なおサンプルレートが Lock されている場合、この値は変更できません。

32kHz

44.1kHz

48kHz

88.2kHz

96kHz

176.4kHz

192kHz

352.8kHz

384kHz

4. Lock Indicator

サンプルレートがロック状態のときに点灯します。

5. Device Selector

利用可能なデバイスのシリアル番号が表示されます。

6. Settings Button



セッティングメニューが開きます。

6.1. Analog Input source select dropdown menu

XLR か RCA のアナログ入力の選択を行います。これが正しく設定されていない場合、アナログインプットが正常に動作しませんので、必ず使用端子とインプットソースを合わせてください。

6.2. Dimming dropdown menu

アウトプット出力レベルの調整が 1dBu 単位で可能です。

6.3. Brightness slider for the AMARI touchscreen display

ディスプレイの明るさ調整ができます。

6.4. Buffer size dropdown menu (on Auto by default)

バッファサイズが変更できます。

6.5. ASIO Control (Windows only)

Windows 使用時のみ ASIO コントロールが可能です。

6.6. USB Streaming Mode: ストリーミングモードが変更できます。

Min Latency

Low Latency

Standard

Relaxed

Safe

Extra Safe

7. Minimize Button

コントロールパネルが最小化されます。

8. Close Button

コントロールパネルを閉じます。

9. Output Selector

AMARI

のアウトプット設定が変更できます。こ

の タ ブ を ク リ ッ ク し て セ ク シ ョ ン を 切 り 替 え て く だ さ い 。

Monitor (メインアウトの設定)

Headphone 1 (ヘッドフォン1の設定)

Headphone 2 (ヘッドフォン2の設定)

Digital (AES/EBU、S/PDIF、TOSLINK そして USB の入出力設定)

10. Source

アウトプットされるオーディオソースを選択できます。

Analog (アナログインの音がそのまま出力されます。)

USB Play (コンピュータオーディオの音が DA されて出力されます。)

AES (AES/EBU の音が DA されて出力されます。)
SPDIF (SPDIF の音が DA されて出力されます。)
TOSLINK (TOSLINK の音が DA されて出力されます。)

11. Balance knob

LR のバランス調整ができます。

12. Gain Knob

ボリュームを変更できます。

13. Output Level Meters

LR の信号レベルがメーターで表示されます。

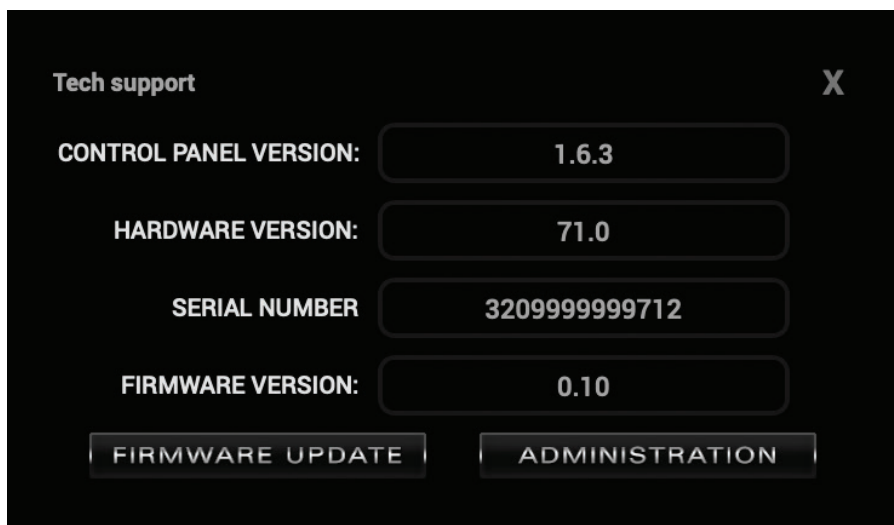
14. Device info button

次のようなデバイスに関するさまざまな情報を表示します。

コントロールパネル、ハードウェアとファームウェアのバージョン、シリアル番号

この情報はサポート時に必要になります。サポートへ連絡する前にこの情報を必ず控えてください。

下のボタン **FIRMWARE UPDATE** を使用してデバイスのファームウェアを更新したり、**ADMINISTRATION** で管理パネルにアクセスしたりすることもできます



5.2 ヘッドフォン 1 & 2 ビュー

これらのセクションは AMÁRI のヘッドフォン 1 とヘッドフォン 2 の出力を制御します。



1. Source

ヘッドフォン 1 – 2 の出力ソースを選択できます。

Analog

USB Play (Computer Audio)

AES

SPDIF

TOSLINK

2. Balance Knob

LR のバランス調整ができます。

3. Gain Knob

音量を変更できます。

4. Output Level Meters

LR の信号レベルがメーターで表示されます。

5. Balanced Output Switch

ヘッドフォンのバランス出力の切り替えができます。

6. HP Membrane Weight Compensation knob

ヘッドフォンアンプの出力抵抗を選択できます。

5.3 デジタルビュー

AMÁRI のデジタル入力と出力の信号ルーティングを管理します。デジタル出力と入力は固定されていますが、オーディオソースはドロップダウンメニューから自由に選択できます。



Analogue
USB Play (Computer Audio)
AES
SPDIF
TOSLINK

6. 用語集

バランス接続

アンバランスケーブルとは対照的に、バランスケーブルは、コネクタに3本の導体とケーブルに3本のワイヤがあります。2本の信号線と1本の独立したアース線です。2本の信号線は同じ信号のコピーを伝送しますが、そのうちの1本は極性が反転しています。信号を合計すると、それらは互いに打ち消し合うようになります。両方の信号コピーは、ケーブルを伝わる時に同じノイズを拾います。つまり、ノイズも相殺できます。バランス入力、受信時に信号の極性を反転させることによってこれを利用します。通常、長いケーブル配線、スタジオ環境、およびプロフェッショナルオーディオシステムでは、そのためにバランス接続が使用されます。

Oven Control

温度が変動すると、発振器の精度が低下します。発振器はシールドされた容器、一定の温度を維持する「オーブン」に格納すると、オーディオの詳細や、ダイナミクス、およびステレオイメージに大きな利点がもたらされます。

Sample Rate & Bit Depth

オーディオのアナログ信号がデジタルの世界に変換されると、それはある時点で小さな情報になります。サンプルレートとビット深度を上げると、情報も増えるため、元のアナログ信号をより詳細に表現できます。ビット深度は、各サンプルの情報のビット数を表します。AMÁRI はデジタルオーディオデータの各サンプルの解像度に直接対応しています。

Atomic Clock

本物の原子技術に基づいて、Rubidium Atomic Reference Generator は最も耳の肥えたオーディオマニアとオーディオ専門家に納得されるように特に設計されています。この技術は、ほとんどの機器で使用されている水晶発振器より、10万倍も正確です。

Word Clock

ワードクロックは、デジタルオーディオデバイスを同期させるために使用されるクロック信号です。S/PDIF、AES/EBU、ADAT、および TDIF は、ワードクロックを使用する一般的な形式の一部です。

Kensington Lock

デモンストラションルームでデバイスをロックするために使用されます。

AES

AES3 (AES/EBU) は、プロのオーディオ機器間でデジタルオーディオ信号を交換するための規格です。AES3 信号は、バランス、アンバランス、および光ファイバを含む複数の伝送媒体を介して 2ch PCM オーディオを伝送できます。

S/PDIF (Sony/Philips Digital Interface)

同軸ケーブルを使用してオーディオ信号を送送する AES3 の民生用バージョン。

TOSLINK (Toshiba Link)

TOSLINK は標準化された光ファイバコネクタシステムです。一般に「光オーディオケーブル」または単に「光ケーブル」とも呼ばれ、その最も一般的な用途は、デジタルオーディオストリームを送送する民生用オーディオ機器（「デジタル光」ソケット経由）です。

Headphone Membrane Weight Compensation

AMÁRI の2つのハイパワーステレオヘッドフォン出力 (XLRコネクタ) は、デジタルトリムとユーザーで自身で選択可能な出力インピーダンス ($-4.6 \sim 85.3 \Omega$) 機能を備え、17 の制御ステップで個別の音量制御 (最大20dBu) を備えています。この機能は、あなたのお気に入りのヘッドフォンを理想的な状態で AMÁRI と構成することを可能にし、最高のパフォーマンスのために、インピーダンスを一致できます。AMÁRI の忠実度の高いヘッドフォンドライバチップは、完全差動入力 (1アンプあたり) を提供します。デュアルアンプ設計で、起こり得る温度ドリフトを排除し、差動信号品質を実現するように最適化されています。ヘッドフォン出力は、最大限の性能を引き出すためのデュアル DAC アーキテクチャも備えています。